2021 愛媛大学教育学部附属中学校研究紀要 第72号

持続可能な社会の実現に貢献する実践者の育成

ー 既有の知識や経験でつながる「深い学び」の創造を通してー

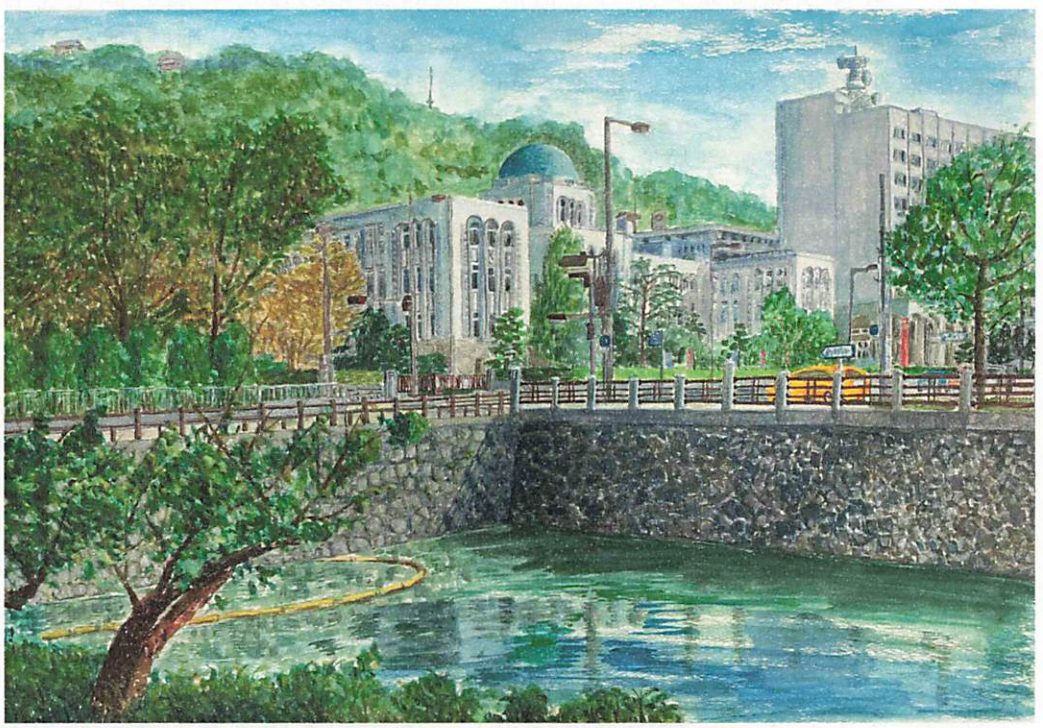
（3か年研究最終年次）



愛 媛 大 学 教 育 学 部
愛媛大学教育学部附属中学校

2021 愛媛大学教育学部附属中学校 研究紀要　第72号





愛　媛　大　学　教　育　学　部

愛媛大学教育学部附属中学校

御　　挨　　拶

第100回愛媛教育研究大会実行委員長
愛媛大学教育学部附属小学校長　城戸　茂

第100回愛媛教育研究大会の開催に当たり、御挨拶を申し上げます。

暦の上では春の始まりとされる立春の折に、コロナ禍により延期しておりました記念大会が、ハイブリッド形式を活用して開催できますことを誠に嬉しく存じます。

本研究大会は、教育学部の附属学校園の大切な使命の一つとして、各学校園において毎年のように開催しておりましたが、この度、師範学校時代から数えて100回目となることを記念し、共通テーマ「未来を拓く力の育成」の下、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の四校園での合同開催といたしました。

愛媛教育研究大会の歴史を紐解きますと、大正10（1921）年に第1回大会が開催されています。この大会では、明治から続く教師主導の教授から抜け出し、子どもを教育の中心に据えるべきであるとする「自由教育」の考え方の下、公開された研究授業や研究発表を基に熱心な協議が展開されたことが記録されています。こうした子どもを教育の中心に据えた考え方は、昭和26年に愛媛大学教育学部附属となって以降も、教育研究の中で脈々と受け継がれており、今大会においても各学校園の研究の基盤に据えられています。

また、教育学部附属となって以降、教育研究の質の一層の向上を目指して学部や教職大学院の教員が共同研究者となるなど、大学と附属学校園が密接に連携した取組が重ねられています。更に、近年では、子どもたちの育ちをより確かで豊かなものにするために連絡入学の制度を設けるとともに、研究活動においても大学附属の高等学校を含めた五つの学校園が共通テーマを設定し、一貫性のある取組を推進するなど、全国的にも類例のない一体感をもった取組を進めてまいりました。

本大会では、共通テーマの下、各学校園の実態に応じ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す学習活動や、本年度から一斉にスタートしたＧＩＧＡスクール構想に沿った実践研究の様子を公開させていただくこととしております。加えまして、持田キャンパス内に四つの学校園が併設されているという全国的にも稀有な特色を生かし、接続する異校種間の連携を図った取組や、特別支援学校との連携によるインクルーシブ教育など、今日的課題へ対応した取組の一端についても御紹介する予定です。

コロナ禍の中での開催が予想されるため、御不便をおかけする面があるかとは存じますが、県内外から多くの方々に御参加いただき、御意見や御指導を賜りますとともに、各学校や各地域における取組の参考にしていただければ幸甚に存じます。

結びに、これまでの研究推進に対し、御支援を賜りました愛媛県教育委員会をはじめとする県内教育関係諸機関の皆様方に対し、心より感謝申し上げます。また、日頃から直接、間接に御支援、御助言をいただきました愛媛大学の先生方や研究協力者、各学校園の諸先輩方をはじめ関係の皆様方に対し厚く御礼申し上げ、挨拶とさせていただきます。

はじめに

愛媛大学教育学部附属中学校長　日野 克博

新型コロナウイルス感染症は、世界各地で社会全体に広範かつ多面的な影響を与えています。加えて、我が国では、GIGA スクール構想のもと Society5.0 時代に向けた動きが急加速で進んでいます。こうした社会状況の変化のなか、これからの社会を生き抜く子どもたちにどのような資質・能力を育成するかは、教育現場が抱える大きな課題となっています。さらに、令和 3 年度から完全実施となった中学校学習指導要領では、子どもが持続可能な社会の創り手として、予測が困難な未来社会を自立的に生き抜く資質・能力を育成することが期待されています。

そうしたなか、関係各位のご協力のもと、第 100 回愛媛教育研究大会を開催できることについて深く感謝申し上げます。附属中学校のシンボル的存在である「章光堂」もちょうど築 100 周年を迎え、記念すべき年に記念大会が開催できることを大変嬉しく思います。

さて、本校では、愛媛大学教育学部附属校園の共通主題「未来を拓く力の育成」のもと、「持続可能な社会の実現に貢献する実践者の育成　―既有の知識や経験がつながる『深い学び』の創造を通して―」を研究主題に研究を進めてきました。「自立と共生の力をもつ生徒の育成」を教育目標に、「温かいつながりで、時代を担う人間性の高い真のリーダーに育てる」ことを目指しています。

本校では、教育・研究活動において「温かいつながり」を大切にしています。これまで諸先輩方が蓄積されてきた研究の成果を基盤にしながら、これからの時代を見据えて研究を進めてきました。そこには、今ここの自分が、過去の知識や経験をもとに、新しい気付きや発見、自己の成長を実感する「知のつながり」、教科の独自に留まらず、教科を越えた横断的な学びや校種を越えた系統的、交流的な「学びのつながり」、そして、個の研究を基盤にしながら教科横断的な研究グループを組織するとともに、他の附属校園や大学教員等との共同研究を進めてきた「人のつながり」など、様々な「つながり」が根底に位置付いています。

今後、学校現場で新たな学びが実践されていく際に、本校での取組が、子どもの思考や表現を今まで以上に重視した「学習者主体の教育」や、教育のデジタル化に対応した「データ駆動型の教育」の先駆けになればと期待しているところです。

コロナ禍のなかでの研究大会となり、子どもの姿を映像を通してご覧頂くことになりましたが、本校の取組を知って頂き、皆様からの忌憚のないご意見をいただくとともに、日々の授業改善にお役に立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、これまでに本校の教育・研究に賛同され、ご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。今後とも、本校の研究や運営により一層の支援を賜りたく、慎んでお願い申し上げます。

目　次

御挨拶 …… 2
はじめに …… 3

第Ⅰ部　基　本　構　想

持続可能な社会の実現に貢献する実践者の育成
　－既有の知識や経験でつながる「深い学び」の創造を通して－ …… 9

第Ⅱ部　教科領域別研究

【言葉による深い学びを共に創りあげる学習活動の展開　　国語科】
言葉による見方・考え方を働かせて，主体的に課題を設定し，解決する学習展開の工夫
　細川　美保 ……25
深い学びを実現する「読むこと」の学習活動の工夫
　－文学的文章を読むことの授業づくりを通して－　兵頭　宣彦 ……31
主体的に学びに向かう学習者を育成するための学習評価の工夫
　－長期的ルーブリックと学びログの活用を通して－　丸山　佑樹 ……37

【よりよい社会や自分の姿を思い描く力の育成　　社会科】
当事者意識を持ち，未来社会のよりよい姿を構想する学習指導の工夫
　－公民的分野「持続可能な社会を目指して～これからの資源・エネルギー～」の実践より－
　高橋　祐貴 ……45
公正な判断に基づく最適解を求めて検討を繰り返し，「優れた問題解決者」を目指す生徒の育成
　－歴史的分野　「第二次世界大戦と人類への惨禍」の実践より－
　江角　紀行 ……50
よりよい未来社会を創造する力を育てる指導の工夫
　－比較の視点を取り入れた歴史的分野「中世の日本」の学習を通して－
　萩山　知治 ……56

【数学的な見方・考え方を働かせて問題発見・解決する生徒が育つ授業の展開　　数学科】
既習の知識や技能を活用し，課題解決ができる生徒の育成
　－活用する力を見取るパフォーマンス課題を通して－
　宇都宮憲二 ……64
既有の知識や経験，数学的な見方・考え方をつなぐ学習展開の工夫
　－「みなす」活動に視点を当てて－　冨永　剛志 ……70
生徒が主体的に「数学する」学びを実現する指導の工夫
　－第３学年「関数 $y=ax^2$ 」の学習を通して－　山本　泰久 ……76

【科学的根拠に基づき，探究する資質・能力の育成　　理科】
一人一人の『探究する資質・能力』を伸ばす指導の工夫
　ー三角ロジックモデルを用いた授業を通してー　　沖野　俊也　……86
科学的根拠に基づき探究する自律型学習者の育成
　ー「鍛える授業」から「自ら学ぶ授業」へー　　真木　大輔　……90
自然の事物・現象を探究する授業展開の工夫　　山根　典之　……94

【一人一人が自分自身の力で多様な音楽を楽しむことのできる生徒の育成　　音楽科】
音楽的な見方・考え方を働かせ，学びの深まりが実感できる指導法の工夫（小中連携）
　　三棟　優子　……103

【自らの気持ちや考えを主体的に表現し，伝える力の育成　　美術科】
自己の考えや価値観を見つけ出し，深め，高める学習方法の工夫
　　大口　愛子　……111

【豊かなスポーツライフの実現に向けて主体的に運動実践できる力の育成
　　ー既有の知識や経験でつながる深い学びを目指してー　　保健体育科】
運動やスポーツの主体的な実践者が育つ保健体育学習の創造
　ー「体育理論」の実践よりー　　坪内　道広　……119
運動やスポーツの楽しさや喜びを実感する保健体育学習の創造　　古澤　龍也　……125

【生活の中の課題を見付け，解決する力の育成　　技術・家庭科】
3DCADによる設計を通した技術的課題解決力の育成　　薬師神吉啓　……133
習得した知識や技能を生活に生かす力を育てる学習指導の工夫　　土手　佳代　……141

【社会や世界，他者と関わる中で，
　　自分の気持ちや考えを主体的に表現し，伝える力の育成　　英語科】
統合的な運用能力を高める言語活動の工夫
　ーリーディング活動からライティング，スピーキング活動へー
　　河野　　操　……149
積極的に英語でやり取りを行う生徒の育成
　ーリテラチャー・サークルの実践を通してー　　向井　俊博　……156

第Ⅲ部　研究の総括

第１章　学校評価　……165
第２章　最終年次研究のまとめ　……167

おわりに　……171
研究同人及び愛媛大学研究パートナー　……172